

## 第43期事業計画

専務理事 杉山公信

### ◆第43期事業計画の方針

基本的には42期事業計画に定めた事項を必要に応じて継続して行います。

その上で、スノースポーツ愛好者が「安全にスノースポーツを楽しむ為」の技術力の向上、その為の指導法を練磨し、自然環境に寄り添う事が我々の存在意義であり、スノースポーツの普及に繋がると考えます。その目的達成の為に会員諸氏にオンラインも含めた、有意義な研修会を提供すると共に、教程を活用した安全なレッスン活動の啓蒙を公認校と共に行ってまいります。

新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか？測りかねるところではありますが、今後は今まで以上に、社会の動きと求めに応じた準備と対応が必要であると考えます。

収支執行に関しては、引き続き正しくチェックを行いながら進めます。一方で、必要に迫られて始めたオンライン会議ではありますが、今後もその有効性を活かし、効率運営に努めます。

執行部においては、会員の皆様の声に耳を傾けながら、我々を取り巻く様々な環境の情報を収集し、「今必要な事はタイムリーに実施する。将来必要になるであろう事は、しっかり準備を進める」という思いを常に持ち続けながら、会員皆様と力を合わせて執務にあたります。

どうぞご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

次の8項目を事業計画の大きな方針とする。

※詳細は各部事業計画をご覧ください。

1. 「新たな生活様式」に対応したレッスン
2. 優秀なイグザミネーター・デモンストレーターの養成及び研修会参加率増への取り組み
3. 少子高齢化社会に向けての対応と取り組み
4. 組織の再編とデジタル社会に対応する取り組み
5. 国際関係に対応する取り組み
6. スノースポーツの普及と会員活動のあり方の検討
7. 業界団体との連携
8. 収支執行管理と事務局運営

### ◆第43期事業計画方針の具体的目標

1. 新型コロナウイルスに対応したレッスン
  - ①「スノースポーツレッスンガイドライン」に準じます。
2. 優秀なスノースポーツ教師・イグザミネーター・デモンストレーターの養成及び研修会参加率増への取り組み
  - ①チーフイグザミネーターチームを活用し、イグザミネーターの質向上を図り、研修・検定会の充実。また、検合格基準の更なる平準化を行います。
  - ②デモンストレーターの質向上を図る機会を設けます。
  - ③研修会は、各支部との協力のもと、会員の地域性や年齢別、性別、目的別など様々な要望に応じた内容の設定をし、参加意欲の向上を図ります。
3. 少子高齢化社会に向けての対応と取り組み  
現在の会員平均年齢は、51.2歳⇒10年後の予想は55歳以上と予想されます。
  - ①公認校校長継承者不足への協力対応していきます。
  - ②まずはステージI資格取得を目指すきっかけづくりと、待遇の改善を公認校と共に考えてまいります。
4. デジタル社会に対応する取り組み
  - ①前期より広報部を廃止し、新たに総務部内に「広報委員会」と「デジタル委員会」を設置しています。HP内容の充実による魅力向上・会員マイページの利用による利便性向上とSNS/Youtube等の動画の発信による情報共有とSIAのアピール力向上を行い、SIA認知度UPと更なる会員・法人賛助会員・個人賛助会員様の獲得を目指します。
  - ②オンライン会議の有効活用を行います。
  - ③教程等の教材および、Eラーニングの使用による利便性向上を進めます。

## 5. 国際関係に対応する取り組み

諸外国間の往来には引き続き不透明感がありますが、インバウンド需要の復活の時に向けて進めてまいります。

①2020年9月公布された、「S I AステージI以上の有資格者」もしくは「I S I A加盟国ステージI以上で認められた国の有資格者」は、特定技能によるビザ対象とする。となった事は大きな前進でありました。外国人インストラクターの活躍を必要とする公認校において、有効に機能することが期待されます。

②I S I Aとの関係を有意義に進めます。

## 6. スノースポーツの普及と会員活動のあり方の検討

①「安全なスノースポーツをS I A」を念頭に広報を行い、安全なレッスンへの誘客とスノースポーツの普及を行います。

②国際技術検定受検者増を目指します。

③一般の方向けの行事を通じて、スノースポーツの普及を図ります。

④法人賛助会員・個人賛助会員様の寄付は協会運営の大きな力であり、その増加を目指します。

⑤会員活動のルールは現行維持が良いのか？変更する必要があるのか？検討を引き続き進めます。

## 7. 業界団体との連携

一般社団法人スノースポーツ&リゾート協議会には、業界団体様も加入しております。今後もその関係維持強化に努めるとともに、行政に対し、非公認校の是正（外国人含む）、教育旅行、スキー教室の維持発展等、我々に必要な要望を進めていきます。

### ※一般社団法人スノースポーツ&リゾート協議会

2019年設立。日本のスノースポーツとスノーリゾート発展のために、国、自治体、関連団体、業界が連携して活性化に取り組むための組織。社員としての団体は公益財団法人全日本スキー連盟・公益社団法人日本プロスキー教師協会・一般財団法人日本鋼索交通協会・日本スキー産業振興協会の4社。役員は全8名。会長は北野氏（JOC理事）、副会長はS I A会長中島含め3名。S I A杉山専務理事も理事として参加している。また、地方自治体・県スキー連盟・協会団体・ホテルグループ等が多数会員として参加している。

## 8. 収支執行管理と事務局運営

厳しい社会情勢の中ではありますが、会員の皆様の貴重な会費を活かすべく、公益社団法人として厳格な運営を行います。

①各部の責任において、予算執行を行います。全体を見極め適切に運用します。

②月次収支の確認を行います。

③事務局作業の外注⇒内製化を見極め、経費削減を行います。

④現行を良とせず、常に可能な経費削減を追求します。

⑤事務局移転検討

引き下げ交渉を行った結果。現在月額家賃約22万5千円（2020年7月までは25万円）立地条件と約70㎡を考えると格安と言えますが、次回更新（2022年6月）までに、移転の是非を確定いたします。

以上

## 第43期総務部事業計画

- 方針：①ガバナンスの強化
- ②財務体質の健全化
- ③変動する世情への迅速な対応
- ④本部支部との連携強化
- ⑤スノースポーツの普及
- ⑥広報活動の推進

### <総務委員会>

- (1) ガバナンスの強化
  - ①啓蒙活動の強化
    - ・すべての行事において、SIAの理念を唱和し啓蒙活動に努める
  - ②時代・社会情勢に合わせた定款・規約規程の見直しをする。
- (2) プロスノースポーツ教師として誇りを持って仕事を続けられる組織と環境づくり
  - ①他のスポーツ諸団体との友好親善関係を構築する
  - ②会員にとって有益な情報収集
    - ・夏期の仕事情報
  - ③非公認校是正にむけ諸官庁への働きかけを行う
  - ④会員実情把握・アンケートの実施
  - ⑤コロナ対策
- (3) 永年会員の表彰
- (4) 理事選出方法
  - ①選出にあわせたガイドラインの作成

### <財務委員会>

- (1) 財務体質の健全化
  - ①経費節減を目指した予算案の作成および実行
    - ・理事会等のオンライン会議化
  - ②予算執行状況の早期確認と対応
    - ・毎週末、事業の執行状況、未実施事業の見通しを報告
    - ・赤字事業の見直し
  - ③会費収入の減少に伴う他の収入源の確保
    - ・広報と連携し、新規会員の増加（正会員・法人賛助会員）
    - ・業界外の法人賛助会員を積極的に探す

### <国際委員会>

- (1) I S I Aとの関係強化
  - ① I S I A総会、理事会に参加し加盟各国との交流、情報交換を行い、必要な情報を会員に伝達
  - ②環太平洋地域の親睦強化
- (2) 国際環境との連動
  - ①インバウンドへの取り組みを推進
  - ②外国人有資格者の活用＝外国人へのステージI取得推進（アルペンスキーのみ）
  - ③外国人の入会後の円滑な活動をサポート
  - ④各部と連携し、公認校の外国人雇用促進

### <支部委員会>

- (1) 支部との連携強化
  - ①支部長会議の開催・関連のアンケート実施
  - ②支部の事業計画・予算案の報告・中間報告・決算報告

### <広報委員会>

- (1) スノースポーツの活性化を図る事業の実施
  - ①一般愛好者を対象に、SIAデモンストレーターによる講習会を実施
  - ②一般愛好者および会員を対象にしたコンテストを実施
  - ③スノースポーツの普及を図る事業への参加及び実施
- (2) 協会事業の広報・宣伝及び事業実施等の促進
  - ①SIA理念と事業計画に基づき、スキー専門誌に活動、宣伝記事を掲載
  - ②機関誌「SIAニュース」を年2回（1月、6月）発行
- (3) 賛助会員・プレス関連事業
  - ①法人、個人賛助会員の入会促進
    - ・案内冊子(SIAの概要)の新規作成
  - ②賛助会員懇談会・懇親会・情報広報を実施

<デジタル委員会>

(1) 協会事業のデジタル化

① 現状のホームページの中長期的な計画

② 会員の利便性を向上し、協会の運営を効率化するシステム開発の検討

(2) デジタルを活用したスノースポーツの活性化、及びSIAの認知度向上

① 協会ホームページの充実

② SNSを利用した情報の発信

総務部

定款の目的	事業内容	事業計画
1. スノースポーツ教師及び一般愛好者・青少年の育成と普及	1) 支部活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支部との連携強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部長会議の開催・関連のアンケート実施</li> <li>・支部の事業計画・予算案の報告・中間報告・決算報告</li> </ul> </li> </ul>
	2) スノースポーツ教師及び一般愛好者対象の各種講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スノースポーツの活性化を図る事業の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般愛好者を対象に、SIAデモンストレーターによる講習会を実施</li> <li>・一般愛好者および会員を対象にしたコンテストを実施</li> <li>・スノースポーツの普及を図る事業への参加及び実施</li> </ul> </li> </ul>
2. 我が国を代表して国際スキー教師連盟(ISIA)へ加盟	1) ISIA加盟国との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ISIAとの関係強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISIA総会、理事会に参加し加盟各国との交流、情報交換を行い、必要な情報を会員に伝達</li> <li>・環太平洋地域の親睦強化</li> </ul> </li> <li>■国際環境との連動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドへの取り組みを推進</li> <li>・外国人有資格者の活用＝外国人へのステージI取得推進（アルペンスキーのみ）</li> <li>・外国人の入会後の円滑な活動をサポート</li> <li>・各部と連携し、公認校の外国人を雇用促進</li> </ul> </li> </ul>
3. 目的を達成するための必要な事業	1) 啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ガバナンスの強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓蒙活動の強化としてすべての行事において、SIA理念を唱和し啓蒙活動に努める</li> <li>・時代・社会情勢に合わせた定款・規約規程の見直しをする。</li> </ul> </li> <li>■プロスノースポーツ教師として誇りを持って仕事を続けられる組織と環境づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のスポーツ諸団体との友好親善関係を構築する</li> <li>・夏期の仕事情報など会員にとって有益な情報収集</li> <li>・非公認校は正にむけ諸官庁への働きかけを行う</li> <li>・会員実情把握・アンケートの実施</li> <li>・コロナ対策・期間限定で会員の単位登録の無料化</li> <li>・スノースポーツ教師という職業、SIAの認知度を上げる活動・他のスポーツ諸団体との友好親善関係を構築する</li> </ul> </li> <li>■理事選出方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・選出にあわせたガイドラインの作成</li> </ul> </li> </ul>
	2) 予算執行状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>■財務体質の健全化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会のオンライン会議化等経費節減を目指した予算案の作成および実行</li> <li>・事業の執行状況、未実施事業の見通しを報告し、予算執行状況の早期確認と対応</li> <li>・赤字事業の見直し</li> <li>・会費収入の減少に伴う他の収入源の確保</li> <li>・広報と連携し、新規会員の増加（正会員・法人賛助会員）</li> <li>・業界外の法人賛助会員を積極的に探す</li> </ul> </li> </ul>
	3) 会員の表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>■永年会員の表彰</li> </ul>
	4) 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協会事業のデジタル化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のホームページの中長期的な計画</li> <li>・会員の利便性を向上し、協会の運営を効率化するシステム開発の検討</li> </ul> </li> <li>■デジタルを活用したスノースポーツの活性化、及びSIAの認知度向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会ホームページの充実                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>a) SIAの教師・公認校の多様性を発信</li> <li>b) SIAの理念と社会情勢、事業計画に基づき必要な告知・宣伝記事を掲載</li> </ul> </li> <li>・YouTube・Facebook・Instagram等の発信                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 協会の様々な活動内容を適時掲載</li> <li>b) デモンストレーター・公認校の認知向上</li> <li>c) タイムリーな告知活動</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■協会事業の広報・宣伝及び事業実施等の促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SIA理念と事業計画に基づき、スキー専門誌に活動、宣伝記事を掲載</li> <li>・機関誌「SIAニュース」を年2回（1月、6月）発行</li> </ul> </li> </ul>
	5) 賛助会員・プレスとの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■賛助会員・プレス関連事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内冊子(SIAの概要)の新規作成等、法人及び個人賛助会員の入会促進</li> <li>・賛助会員懇談会・懇親会・情報広報を実施</li> </ul> </li> </ul>

## 第43期 教育部事業計画

○方針：「会員の指導力・技術の向上」

### <資格委員会>

1. スノースポーツ教師資格検定会
  - ①各ステージⅠ検定は各学校、支部にて実施
  - ②各ステージⅡ、Ⅲ検定会を支部と連携して実施
  - ③各ステージⅣはフェスティバルで実施
  - ④ステージⅢ・Ⅳ基礎理論検定会はWEBで講習、試験を4会場で実施
  - ⑤英語・中国語のステージⅠ検定資料の更新
2. イグザミナー認定事業
  - ①アルペンイグザミナー養成コースに参加するための事前実技試験を支部で実施
  - ②アルペンイグザミナー養成コースをSIAフェスティバルで実施
  - ③アルペンイグザミナー継続認定会をSIAフェスティバルで実施
  - ④スノーボード、テレマークイグザミナー認定会はイグザミナー合宿にて実施
3. アルペンI S I Aカード取得事業（G S L・山岳安全講習会）をSIAフェスティバルで実施

### <研修委員会>

1. スノースポーツ全般の指導・技術の研鑽に努めるための事業
  - ①指導力・技術向上を目的とした研修会を実施
  - ②用具知識向上を目的とした研修会を実施
  - ③各支部との協力のもと、会員の地域性や年齢別、性別、目的別など様々な要望に応じた内容の設定をし、参加意欲の向上を図る
2. 山岳スキー関連事業
  - ①I S I Aの山岳安全講習に対応した講習をSIAフェスティバルで実施
  - ②オフピステ（管理区域内）滑走のための安全講習
3. 語学力向上のための研修会
  - ①インバウンド対応のための語学研修会を実施
4. 他団体で行われている事業に参加
  - ①SBB(スキー・ビンディング・ブーツ取付け調整)認定整備技術者セミナー
  - ②プロスポーツ指導者連絡協議会主催「プロスポーツティーチングセミナー」
  - ③日本赤十字社主催の「救急法一般講習」及び消防署主催の「普通救命講習」
  - ④公益財団法人日本スポーツ協会主催研修会

### <技術委員会>

1. スノースポーツ教師のレベルアップの為の教材作成
  - ①教育旅行向け動画作成、レーシングメソッド教本の作成
  - ②指導力・技術向上を目的とした動画を作成し、SNS, YOUTUBE等で発信する
  - ③国際技術検定可否基準動画作成
2. SIAデモンストレーター関連事業
  - ①SIAフェスティバルでデモンストレーター選考会を実施
  - ②新教程の内容をSIAフェスティバルで発表（デモンストレーション）
3. SIAデモンストレーター・イグザミナーの研鑽に努めるための事業を実施
  - ①SIAデモンストレーター合宿を実施
  - ②チーフイグザミナー及びイグザミナーを強化する研修を実施
4. SIAフェスティバルで技術コンテストを実施

### <障がい者スキー委員会>

1. 障がい者の受入れ基盤を整備するための事業
  - ①障がい者スキー認定教師数を拡大するための認定会場所を替えて複数回の開催を予定
  - ②チェアスキー等、用具の整備と配置を行い各スクールが利用しやすい態勢を整える。  
新規購入と各支部への配置、既存のメンテナンス。
2. 障がい者対応の知識と技術を広げるセミナーの実施  
身体障がい者に関する基礎知識の習得（障がい者スポーツに携わる講師の方によるセミナー）
3. 公認校における障がい者の受け入れをサポートする事業
  - ①障がい者スキーに関する動画の制作配信
  - ②障がい者対応テキストの作成配備
4. SIAの取り組みを伝える事業

教育部

定款の目的	事業内容	事業計画
1. スノースポーツ教師及び一般愛好者・青少年に対する検定・認定	1) 各種検定会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スノースポーツ教師資格検定会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ステージⅠ検定会の実施（令和 3年12 ～各学校・各支部）</li> <li>・各ステージⅡ・Ⅲ検定会を3年ローテーションで支部と連携して実施（令和 3年12 ～各支部）</li> <li>・コロナ対策として、各ステージⅢ・Ⅳ基礎理論検定・講義をオンラインで実施（令和 3年11～12. 3）</li> <li>・各ステージⅢ・Ⅳ基礎理論検定・試験を4会場（北海道・東北・長野・東京）で実施（令和 3年12. 3）</li> <li>・各ステージⅣ実技検定の実施（令和 4年 4 安比高原）</li> <li>・英語・中国語のステージⅠ検定資料の更新</li> </ul> </li> </ul>
	2) 検定員の養成と認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イグザミネーター認定事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルペンイグザミネーター養成コースに参加するための事前実技試験を支部で実施</li> <li>・アルペンイグザミネーター養成コースをSIA フェスティバルで実施</li> <li>・アルペンイグザミネーター継続認定会をSIA フェスティバルで実施</li> <li>・スノーボード、テレマークイグザミネーター認定会はイグザミネーター合宿にて実施</li> </ul> </li> <li>■ISIAカード取得事業（デモ 選GSL・親善GSL）の実施（令和 4年 4 安比高原）</li> <li>■障がい者の受入れ基盤を整備するための事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スキー認定教師数を拡大するための認定会場所を替えて複数回の開催を予定</li> </ul> </li> </ul>
2. スノースポーツ教師及び一般愛好者・青少年の育成と普及	1) 各種研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スノースポーツ全般の指導・技術の研鑽に努めるための事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力・技術向上を目的とした研修会を実施（令和 3年 12～令和 4年 3）</li> <li>・用具知識向上を目的とした研修会を実施（令和 4年 9）</li> <li>・各支部との協力のもと、会員の地域性や年齢別、性別、目的別など様々な要望に応じた内容の設定をし、参加意欲の向上を図る</li> <li>・AP・SB・TMデモ選強化セミナー（令和 3年 4. 安比高原）</li> <li>・ISIA カード対応山岳安全講習会（令和 4年 4. 安比高原）</li> <li>・バックカントリーセミナー（令和 4年 2月 北海道、3月 長野）</li> <li>・八甲田山岳スキー講習会（令和 4年 4 八甲田）</li> <li>・知的障がい者に関する基礎知識講習会を実施（令和 4年10. 東京）</li> </ul> </li> <li>■障がい者対応の知識と技術を広げるセミナーの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障がい者に関する基礎知識の習得（障がい者スポーツに携わる講師の方によるセミナー）</li> </ul> </li> <li>■障がい者の受入れ基盤を整備するための事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェアスキー等、用具の整備と配置を行い各スクールが利用しやすい態勢を整える。新規購入と各支部への配置、既存のメンテナンス。</li> </ul> </li> <li>■語学力向上のための研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド対応のための英語セミナー（令和 4年夏季 東京&amp;各支部 3ヶ所）</li> <li>・インバウンド対応のための中国語セミナー（令和 4年夏季 東京&amp;各支部 2ヶ所）</li> </ul> </li> <li>■他団体で行われている事業に参加                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-B-B認定整備技術者セミナー（令和 4年）</li> <li>・プロスポーツ指導者連絡協議会主催「プロスポーツティーチングセミナー」</li> <li>・日本赤十字社主催の「救急法一般講習」及び消防署主催の「普通救命救急」</li> <li>・公益財団法人日本スポーツ協会主催研修会</li> </ul> </li> </ul>
	3. スノースポーツの普及・発展のため競技会の開催	1) 競技会の開催
4. スノースポーツの指導及び技術並びに安全確保に関する研究	1) SOMの研究・伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>■デモンストレーター・イグザミネーターの研鑽に努めるための事業を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーター合宿（令和 3年11. 北海道 令和4年4. 安比高原）</li> <li>・チーフイグザミネーター研修会（令和 3年12. 北海道）</li> <li>・イグザミネーター研修会（令和 3年12. アルペンスキー 3会場 スノーボード 1会場 テレマークスキー 1会場）</li> </ul> </li> <li>■デモンストレーター関連事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・SIAフェスティバルで新教程内容発表（デモンストレーション）（令和 4年 4. 安比高原）</li> </ul> </li> </ul>
	5. スノースポーツに関する刊行物の発行及び映像等教材の製作	1) 教育部に係わる教材
6. その他目的を達成するために必要な事業	1) 会議等への派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プロスポーツ指導者連絡協議会へ役員派遣</li> <li>■岩手県障がい者関係行事へ役員派遣</li> </ul>
	2) 会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育部会、各委員会の開催</li> </ul>

## 第43期 学校部事業計画

- 方針：①健全な公認校運営の強化推進
- ②会員の活動しやすい環境づくり
- ③安全指導の強化
- ④各種技術検定の普及強化

### <学校委員会>

1. 学校長研修会の開催
  - ①健全な学校運営を目的とし、SIA フェスティバルにて開催
2. 学校運営の協力
  - ①公認校の継続および新規開校の支援
  - ②社会情勢の変化に対応した学校運営支援
  - ③公認校への各種情報発信
  - ④調査資料の収集と有効活用
  - ⑤SIA ホームページ内に全公認校情報掲載
3. 運営管理の強化
  - ①各種届け提出の管理徹底及び運用
4. 公認スキー学校での技術検定の普及強化
  - ①各種技術検定の推進
  - ②技術検定の実施上位校の表彰
  - ③検定促進の各種制作配布
  - ④各種検定に関する調査実施

### <安全委員会>

1. 安全指導の徹底
  - ①有資格者による指導活動の推進
  - ②「安全指導のガイドブック」を制作し配布
  - ③安全用具の積極的な活用と普及
  - ④スキー学校賠償責任ほか各種保険の理解
  - ⑤事故事例の情報共有
  - ⑥全国スキー安全対策協議会との連携
  - ⑦FIS 10か条の周知
  - ⑧新型コロナウイルス感染拡大防止の実行



## 学 校 部

定 款 の 目 的	事 業 内 容	事 業 計 画
1. スノースポーツ教師及び一般愛好者・青少年に対する検定・認定	1) 一般愛好者対象の各種技術検定の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公認スキー学校での技術検定の普及強化</li> <li>・各種技術検定の推進</li> <li>・技術検定の実施上位校の表彰</li> <li>・検定促進の各種小冊子の制作配布</li> <li>・各種検定に関する調査実施</li> <li>・各種メダルの在庫数調査</li> </ul>
2. スノースポーツ教師及び一般愛好者・青少年の育成と普及	1) 教育研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校長研修会の開催</li> <li>・健全な学校運営を目的とし、SIA フェスティバルにて開催。</li> </ul>
3. スノースポーツの指導及び技術並びに安全確保に関する研究	1) 学校運営への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校運営への協力</li> <li>・公認校の継続および新規開校の支援</li> <li>・公認校校長継承者不足への協力対応</li> <li>・社会情勢の変化及び災害等に対応した学校運営への支援</li> <li>・公認校及び所属会員への情報発信</li> <li>・調査資料の収集と有効活用</li> <li>・現行の公認校制度が果たして適切なのか？現状と将来を見据えて検討を行う</li> <li>・SIA ホームページのスクール案内へ全スクール情報を載せる</li> <li>・適正な雇用環境整備への指導・支援</li> </ul>
	2) 運営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種届け提出の管理徹底</li> </ul>
	3) 安全指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全指導の徹底</li> <li>・様々な広報を通じて、安全なレッスンの実施を促す。</li> <li>・有資格者によるレッスンの徹底</li> <li>・「安全指導のガイドブック」を制作し配布</li> <li>・安全用具の積極的な活用と普及、ヘルメット着用の推奨、SBBへ参加</li> <li>・スキー学校賠償責任ほか各種保険の理解</li> <li>・事件事例の情報共有</li> <li>・全国スキー安全対策協議会との連携</li> <li>・FIS10 か条の周知</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の実行</li> </ul>
4. その他目的を達成するために必要な事業	1) 会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校部会議の開催</li> </ul>
	2) 関連団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全国スキー安全対策協議会・日本スポーツ用品工業協会・日本スポーツ産業振興協会等の各機関に協力して活動する</li> </ul>